

はじめに

住まいとコミュニティづくり活動助成は、個性豊かな住環境の創造を願い、民間の非営利団体を対象として当財団の設立当初から実施している助成事業です。助成プログラムは、開始当初からの「一般助成（単年度の助成）」に、平成 18 年度から「特別助成（収益性の事業を導入して、財政基盤を強化する活動を原則として 2 年間にわたり助成）」が加わりました。

本報告書は、平成 20 年度の一般助成対象団体 10 団体と、平成 19 年度から 2 年間継続助成を行った特別助成対象団体 2 団体の活動報告を掲載しています。例年通り、助成対象団体のメンバーの方々に執筆していただいた原稿を基にしていますが、全体のバランス等を考慮し、事務局で内容の追加及び整理をさせていただきました。本報告書は従来の報告書とは趣を変えてデザイン性を重視しました。これまで以上に各団体の活動に対する思いを深く感じ取っていただけたら幸いです。

平成 20 年度の一般助成プログラムには 38 都道府県から 124 件のご応募があり、10 団体が選考されました。一方、平成 19 年度の特別助成プログラムには 19 都道府県から 29 件のご応募があり、2 団体が選考されています。

助成対象活動は多岐にわたりますが、それぞれが地域固有の景観、建造物、空間、そしてまちの住まい手から地域を掘り下げ、各々の「文化」を発信しています。その地域ならではの息吹が感じられると思います。

最後になりましたが、助成対象団体のメンバーの皆様、当助成事業の選考委員の方々にお礼を申し上げます。

平成 21 年 8 月

財団法人ハウジングアンドコミュニティ財団